

【社会科学研究科 経営学専攻】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
経営学専攻	M	DP1：経営学に関する専門的な知識力と技術力	修士論文の審査後に、審査委員会において博士前期課程のDP1の達成度について議論・評価を行う。その後、同DP1～DP4までの結果を総合して分析する。
		DP2：企業環境・行動の課題を理論的・実践的に分析・判断できる能力	修士論文の審査後に、審査委員会において博士前期課程のDP2の達成度について議論・評価を行う。その後、同DP1～DP4までの結果を総合して分析する。
		DP3：企業ならびに組織の活動における資源や組織の効率的運用能力	修士論文の審査後に、審査委員会において博士前期課程のDP3の達成度について議論・評価を行う。その後、同DP1～DP4までの結果を総合して分析する。
		DP4：国際社会・地域社会の発展に寄与する経営学研究者としての研究遂行能力	修士論文の審査後に、審査委員会において博士前期課程のDP4の達成度について議論・評価を行う。その後、同DP1～DP4までの結果を総合して分析する。
	D	DP1：経営学に関する深い専門的な知識や技術の活用力	博士論文の審査後に、審査委員会において博士後期課程のDP1の達成度について議論・評価を行う。その後、DP1～4までの結果を総合して分析する。
		DP2：企業環境・行動の課題を理論的・実践的に分析・判断するための研究能力	博士論文の審査後に、審査委員会において博士後期課程のDP2の達成度について議論・評価を行う。その後、DP1～4までの結果を総合して分析する。
		DP3：企業ならびに組織の活動における資源や組織を効率的に運用するための研究能力	博士論文の審査後に、審査委員会において博士後期課程のDP3の達成度について議論・評価を行う。その後、DP1～4までの結果を総合して分析する。
		DP4：国際社会・地域社会の発展に寄与する経営学研究者としての研究遂行能力	博士論文の審査後に、審査委員会において博士後期課程のDP4の達成度について議論・評価を行う。その後、DP1～4までの結果を総合して分析する。

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
研究指導計画書	4月入学者：4月提出/9月入学者：10月提出	修業年限内の 全年次生	主指導・副指導教員がその指導学生のDP達成に向けて作成した研究指導計画書を専攻主任と研究科長が確認することで、研究指導の改善に活用。	学位プログラム レベル/授業科目 レベル
研究指導報告書	各学期終了時	修業年限内の 全年次生	副指導教員がその指導学生のDP達成のために行った研究指導の報告書を専攻主任と研究科長が確認することで、研究指導の改善に活用。	学位プログラム レベル/授業科目 レベル
授業評価アンケート	毎学期	修業年限内の 全年次生	専攻で実施し、アンケート結果を専攻会議と研究科委員会で確認し、教育方法、研究環境の改善に活用。	学位プログラム レベル/授業科目 レベル
研究倫理教育プログラム受講実績	入学時（以降、3年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院委員会および内部質保証委員会で報告して、研究公正の実現に活用。	学位プログラム レベル/授業科目 レベル
学位論文計画書	所定の期日	修了年次生	専攻で共有することで、研究指導の改善に活用	学位プログラム レベル/授業科目 レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	研究科専攻のDPの達成度の評価に活用。	学位プログラム レベル/授業科目 レベル
修了時調査アンケート	修了時	修了年次生	修了までの学修成果の把握を行い、DP達成度の主観的評価に活用し、専攻会議・研究科委員会で確認することで自己点検・評価・改善にも活用。	学位プログラム レベル/授業科目 レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施